

## 振動源調査及び振動レベル測定概要書

平成 22 年〇月〇日  
株式会社 環境工房

本概要書は、別紙見積書 ～ までの概要説明書である。

### 1. 目的

対象地点付近の振動源、振動伝播経路及び振動幾何（距離）減衰の調査を行い、〇〇の影響を把握し、今後〇〇の工事による振動対策の資料とすることを目的とする。

### 2. 対象地域及び調査地点

〇〇付近 対象地域内の 4 地点

① 〇〇の最も振動を感じる地点 ②～④省略

### 3. 調査項目

#### 1) 受動振動加速度

調査地点の振動加速度を測定する。事後、振動レベル変換、車速、車種調査。

#### 2) 能動振動加速度

調査地点に〇〇を自由落下させ衝撃を地盤に加え、能動的に加振、調査地点の振動加速度及び伝播経路、卓越周波数他を測定する。衝撃力は、事前実験後に求める。

#### 3) 振動解析

1) 2) の振動加速度から伝播特性を解析、起因振動源を推定。

### 4. 調査フロー

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1) 調査計画書作成   | 2) 受動振動加速度測定       |
| 3) 能動振動加速度測定 | 4) 振動解析、報告書及び概要書作成 |

### 5. 調査日時

協議の上実施

### 6. 成果物

・調査報告書（振動解析書、計量証明書〔振動レベル〕、バックデータ）、概要書

### 7. 調査内容一覧

| 調査 NO     | 1                          | 2-1                           | 2-2                         | 3                                |
|-----------|----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 概要        | 調査計画書                      | 測定のみ 4 地点                     | 要所解析のみ                      | 7 地点調査、解析                        |
| 測定時間      |                            | 昼・夜各〇時間                       | 要所時間                        |                                  |
| 必須・選択見積   | ◎必須                        | ○選択                           | ○選択                         | △選択                              |
| 法的対応：道路振動 | —                          | ○                             | —                           | —                                |
| 振動源調査     |                            | ○                             | ○                           | ◎                                |
| その他       | 誠実な対応姿勢を示す必要がある。先行着手の必要あり。 | どの測定時間を計画し、満足度を上げるか。法的な対応は可能。 | 解析対象時間により精度は変わる。振動伝播の解析は可能。 | 能動加振を行う。振動伝播の機構解明に役立ち、今後の案件に対応可。 |